

グループ1 - (1) 自社内独自の運転者研修等の実施

以下に注意し作成してください。

研修実施記録や研修報告書など

研修実施記録	
会社名・営業所名	桜運送(株) 新宿営業所
開催年月日	令和●年●月●日
開催場所	本社営業所
教育内容	イメージ
参加者名簿	桜 一郎 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	新宿 太郎 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●

「会議議事録」ではないこと

申請する営業所名があること。共催の場合も申請する営業所名が必要。通称名を使用している場合は、資料に書き添えるか自認書を添付すること

対象期間内であるか確認するため、必ず「年月日」の記載があること
(西暦、和暦どちらでも構いません。)

具体的な教育内容。どんな研修を行ったかわかるように記入。当日の資料を必ず添付すること。(全ての資料を添付する必要はないが、交通事故防止等【研修内容の具体例】に関する内容が記載されていること。)

参加者「氏名」を記載。役職員名簿と参加者の名前を照会するため、カラーマーカーをつける。

(選任運転者数の半数以上が研修を受講：3点、選任運転者数の半数以下の受講・選任運転者以外の従業員の受講：1点)

参加者名簿は別紙でも可。別紙にも、必ず「営業所名」「開催年月日」「開催場所」が記載されていること。

個別指導の場合

(個別の添乗指導)

添乗指導記録

以下の記載があること

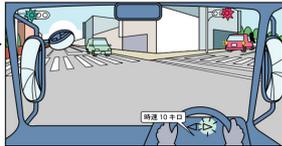
- ・事業所名 (営業所名)
- ・実施年月日
- ・運転者氏名 (カラーマーカーをつける)
- ・指導者氏名
- ・指導内容がわかる記載 (指導コメント)

(個別に行うKYT)

【トラック1】 交差点の右折

交通場面の状況等

・信号機のある交差点を右折しようとしている。	・制限速度：時速60キロ
・対向直進車が接近している。	・地 面：乾燥
・右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。	・天 候：晴
	・積載状況：4トン積
	・運 転 者：半端酔い
	・運転経験：1年



時速10キロ

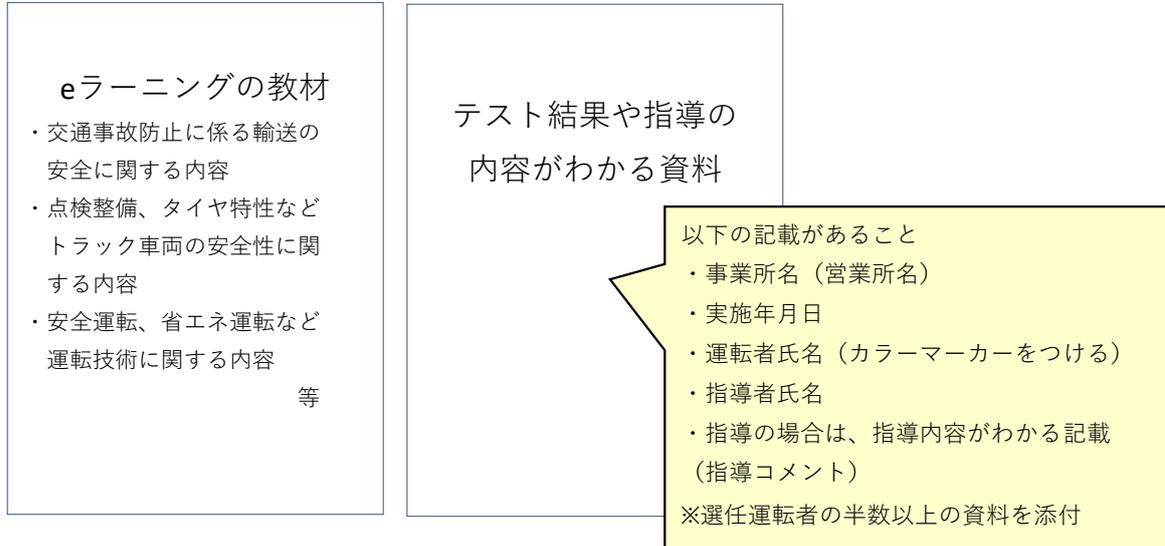
どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか

運転者個人による自己チェック、テスト等のみで指導記録がないものは加点の対象としない。
(システム的に結果が出力され、個人に伝えられるものについては対象とする)

個別指導の場合

(eラーニング)

- ・【研修内容の具体例】に関する内容が含まれる教材を使用していることがわかる資料を添付すること。
- ・指導やテストを行っていることがわかる資料を添付すること。



対象外

- ・朝礼や点呼時の指示、書面による伝達等で研修と見なせないもの
- ・会議と見なされるもの（議事録）→ グループ2 - (1) で評価
- ・荷物事故やお客トラブルに関する内容
- ・積み付け、固縛時の事故や労働災害に関する内容
- ・客先、物流施設、駐車場、車庫などにおける事故、フォークリフト、クレーン等の研修
- ・各所法令等により受講義務のある研修。（危険物、労働安全衛生法省令に基づくもの等）
- ・具体的な指導内容がわからない指導状況の一覧や指導日の一覧表のみ
- ・自社内独自のドライバーコンテスト等の競技会
- ・具体的な指導内容がわからない指導状況の一覧や指導日の一覧表のみ
- ・軽自動車を使用した添乗指導の記録